

メータセット PS3STK 呼び径 25 取扱説明書

No. M0092

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を熟読し、正しくご使用下さいますようお願い申し上げます。なお本取扱説明書は、大切に保管してください。

設置上の注意事項

- メータセット PS の取り付けのときは、保守点検操作のために必要な作業空間を確保してください。
- パイプシャフト内は、メータの取り付け、点検や交換時などの戻り水を考慮し、防水処理または、排水処理などの処置を講じて下さい。

配管上の注意事項

- 接続する配管は、洗浄・排水し、内部の異物を取り除いて、清浄な状態としてください。
- 配管接続前にメータセット PS を水平に設置して頂く為、コンクリート地面に墨入れした後、メータセット PS を取付ける位置へ、アンカーボルト又は全ねじボルトを埋めておいて下さい。推奨ねじの呼びは、W3/8 又は M10 です。(図 1 参照)
- 配管取付け後、仮止めしておいたメータセット PS をアンカーボルト又は全ねじボルトに、六角ナット及び座金を使用し、動かないように固定してください。(図 1 参照)
- 配管は、メータセット PS へ無理な力が加わらない状態で接続して下さい。(フレキシブル継手等のご使用をお勧めします。)
- 配管を接続する際、伸縮固定リングを外した場合には、配管後伸縮固定リングを必ず取り付けて下さい。

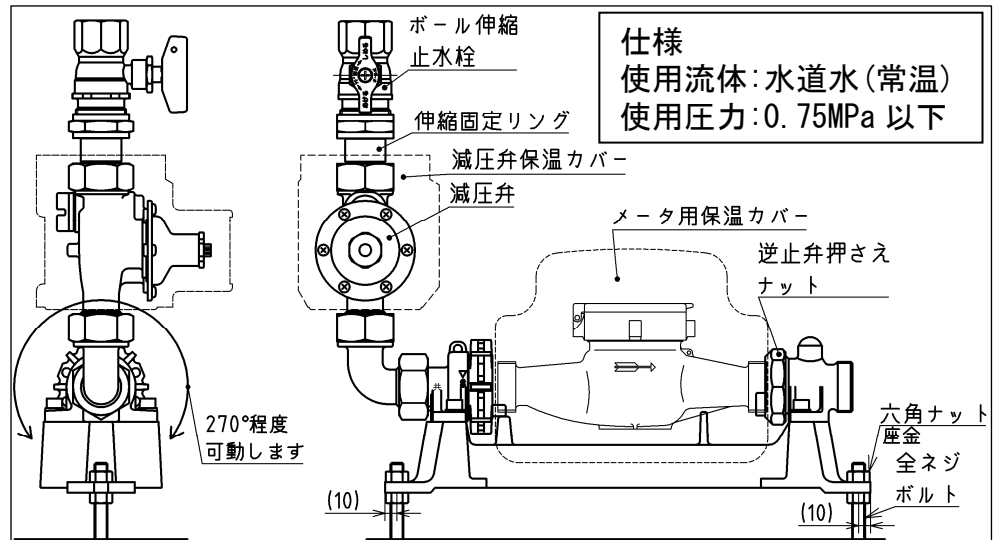


図 1

ユニット組替え方法

メータセット PS GL 型の 1 次側はボール止水栓、減圧弁及びエルボで構成されています(図 1 参照)。各々は、袋ナットで接続、Oリング止水方式になっています。袋ナット及びOリングは、兼用になっていますので、用途に合わせ構成を組替えることができます。

図 2 に接続箇所を示します。図 3 に接続部の詳細、図 4 にストレートタイプへ組替えを行った場合を示します。

1. 接続部の取り外し方

- 袋ナットを緩め、取り外す。
- Oリングを外す。

2. 接続部の取り付け方 (図 3 参照)

- Oリングにゴミ・キズ等無い事を確認し、オネジ側へ取り付けて下さい。
- 部品をまっすぐにゆっくりと差し込む。この時、シリコン等の潤滑材をOリングに塗布すると付けやすく、キズも付き難くなります。

⚠ 部品を斜めに取り付けたり、無理に押し込むとOリングにキズが付き、漏水の原因となりますのでご注意ください。

- 工具を使用し、袋ナットをしっかりと締め付けます。

⚠ 袋ナットをしっかりと締め付けないと施工後に緩み、接続部からの漏水の原因となりますのでご注意ください。

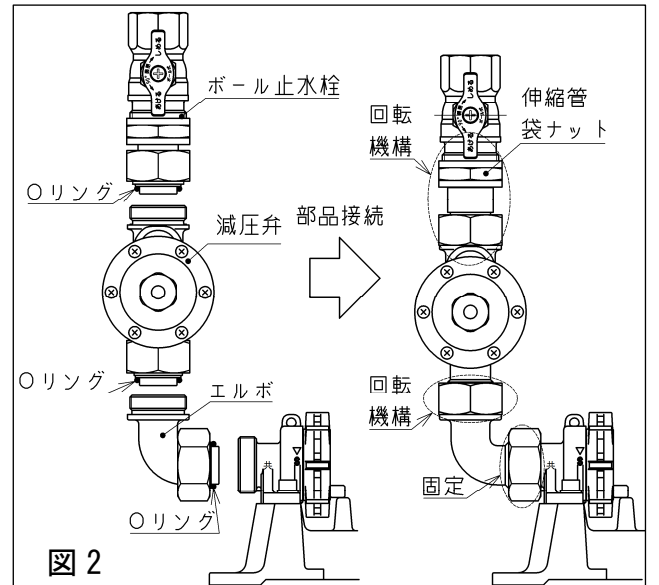


図 2

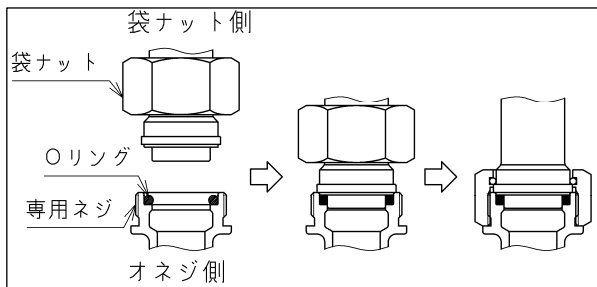


図 3

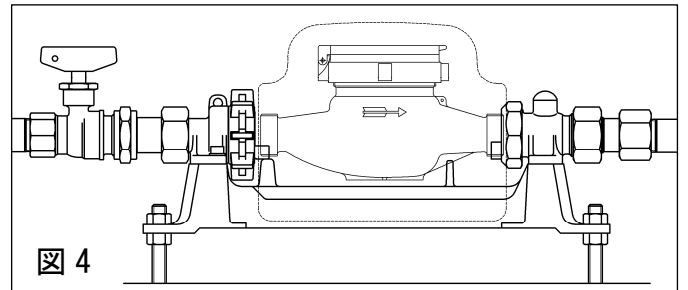


図 4

(減圧弁、エルボを外し、ストレートタイプへ組替え)

⚠ 接続ネジは、専用ねじになっており、専用部品しか取り付けられません。

⚠ 上水ネジや都ネジ等の製品は使用できません。無理に付けようとするとネジが変形し、漏水の原因となりますのでおやめ下さい。

3. 接続部の注意事項

- 接続部の袋ナット及び伸縮管袋ナットは、しっかりと締め付けし出荷されます。一次側・二次側配管施工後再度締め付け確認をしてご使用下さい。(図 2 参照)
- 接続部は、袋ナットを締める事により固定される箇所と回転する箇所(回転機構)があります。接続箇所によって異なりますので、接続部の取り外し、取り付けを行う際はご注意ください。固定箇所: エルボ、回転機構を有する箇所: 減圧弁、ボール止水栓(図 2 参照)
- 接続部の袋ナット及び伸縮管袋ナットを緩めた場合には、必ずしっかりと締め付けて下さい。袋ナットが緩んでいると漏水の原因となりますので、ご注意ください。**

I 型の 1 次側は、ボール止水栓のみになります。

取り付け後の注意事項

- メータ代用管等を取り付け後、配管内を十分にフラッシングし、内部の異物を排出してください。
- 接続部の袋ナット及び逆止弁押さえナットが緩んでいた場合には、締め付けてください。
- メータを取り付けるまでに、メータ取り付け部にゴミ等が入らないようにしてください。
- メータ設置後、メータ用保温カバーを使用し、適切な保温・防寒施工をしてください。(メータ用保温カバーは別売となっております。)
- ボール止水栓の使用圧力は、0.75MPa 以下です。

⚠ 閉の状態、0.75MPa を超える圧力を加えると、シート部の破損、止水不良の原因となります。

水道メータの取り付け

- メータ圧着面にパッキンがしっかりとハマっている事を確認してください。(写真 1 参照)
- メータの流水方向とメータセット PS の流水方向を合わせ、取り付けてください。
- ハンドルを S (閉) 方向へ回し、メータ圧着面を前進させ、メータを確実に圧着させてください。
- メータ取付け後、メータ圧着部からの漏水等の異常が無い事を確認して下さい。
- 異常の無い事を確認後、ハンドルは緩み防止の為、締める方向 (S 方向) にハンドルとスライダケースを結束バンド (インシュロック) で結んで下さい。**

(図 4 参照)

パッキン

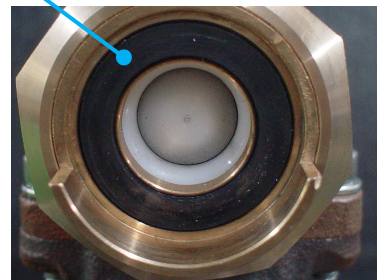


写真 1

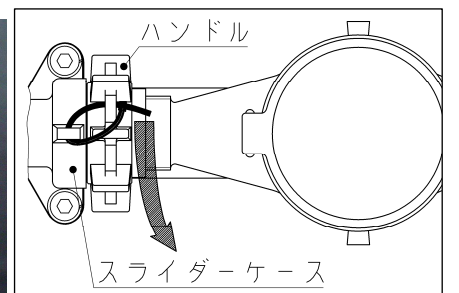


図 4

水道メータの取り外し

- ①結束バンドをハサミ等で切断する。
- ②ハンドルをO（開）方向へ回し、メータ圧着面を後退させ、メータを取り外してください。

⚠ メータの取り付け、取り外しは、ボール止水栓を閉じてから行ってください。
メータパッキンは事業体の仕様品、又は弊社メータパッキンをご使用下さい。

ボール止水栓の操作

- ① ボール止水栓のハンドルを反時計回りに 90° 回すと開栓します。ハンドルの向きは、流水方向と同軸上になります。（図 5 参照）
- ② ハンドルを時計回りに 90° 回すと閉栓します。ハンドルの向きは、流水方向と垂直になります。（図 5 参照）

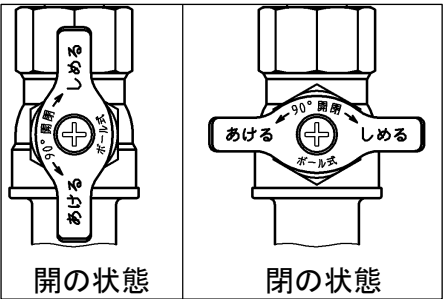


図 5

⚠ ボール止水栓は、中間開度で使用すると、弁体の摩耗、振動、騒音の発生を招く恐れがあり、
止水不良の原因となりますので、全開・全閉でご使用ください。
また、開閉操作はゆっくりと行って下さい。

逆止弁のメンテナンス

ボール止水栓を閉じ、メータを取り外すと逆止弁のメンテナンスが可能となります。

図 6 に逆止弁部の部品名称を示します。

- ① 逆止弁押さえを流水方向に向かって左に回して取り外します。
- ② メータ受け及び逆止弁を取り外します。
- ③ メータ受けに付いている場合、逆止弁を引き抜きます。（図 7 参照）
（逆止機能の低下が懸念される場合には、逆止弁の交換をお勧めします。）

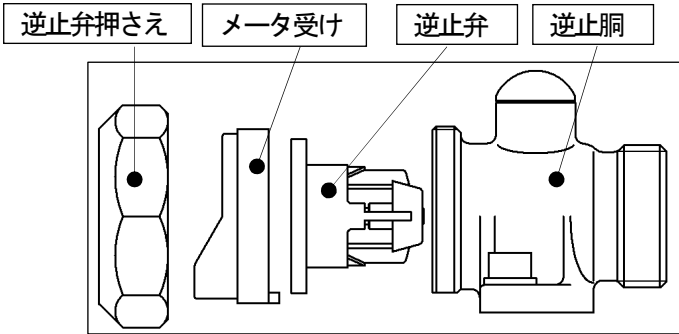


図 6

- ④ メータ受けに逆止弁をはめ、逆止胴に付ける。この時、メータ受けの回り止めと逆止胴の回り止めの位置を合わせてください。（図 8 参照）
- ⑤ 逆止弁押さえを逆止胴へ流水方向に向かって右に回し、取り付けして下さい。

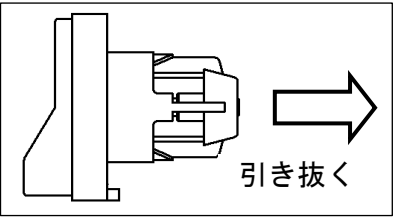


図 7

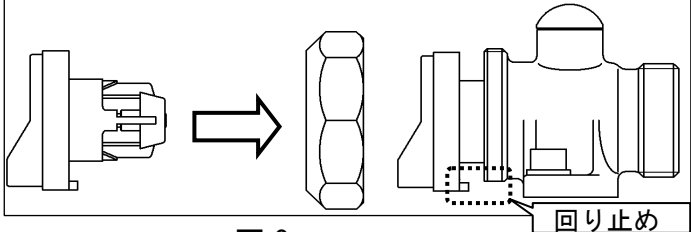


図 8

⚠ 部品を付け忘れると漏水しますので十分注意してください。

メータ接続器具の点検

メータの接続方式は、ハンドルを回転・スライダを可動させ、メータを圧着して接続する方式です。

- ・ハンドルを、表示の S 方向へ回し、スライダを取り外せます。スライダを外し、O リングの点検・交換が可能となります。（図 9 参照）
- ・スライド部の O リングに異常がある場合には、O リングを交換して下さい。
- ・O リングを交換し、異常がない事を確認後、ハンドルを表示の O 方向に回し、スライダ再度とり付けます。
- ・スライダケースに「共」の表示がある製品（図 10 参照）は、下記のサイズの O リングを使用しています。

スライダケース O リング ハンドル

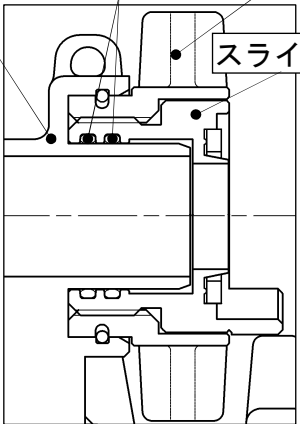


図 9

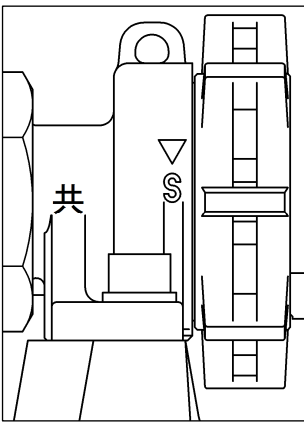


図 10

	呼び径 25	
O リングサイズ	内径 29.7	× 太さ 2.4 (JAS02030)

減圧弁使用時の注意事項

- ①出荷時には、テストプラグを取り付けたバイパス状態です。配管洗浄・耐圧検査は、テストプラグを装着した状態で行って下さい。
- ②洗浄・検査終了後は必ずテストプラグを外してご使用下さい。テストプラグの装着状態では減圧弁が作動しませんので、ご注意下さい。
- ③テストプラグは、保温カバーの収納スペースに保管して下さい。詳細は、同梱されている減圧弁の取扱説明書でご確認下さい。

逆止胴へ圧力計取付け時の注意事項

逆止胴の圧力計取付けねじは平行ねじ (G1/4) です。圧力計を取り付ける際は、平行ねじの圧力計にシールテープを巻いてご使用下さい。

プラグは、樹脂製プラグを使用した製品（図 11 参照）と金属製プラグを使用した製品があります。

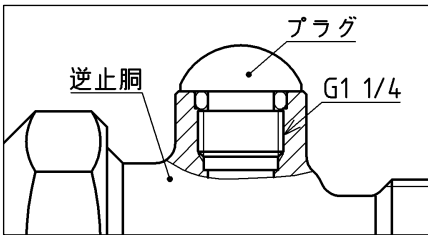


図 11

⚠ テーパねじの圧力計を取り付ける場合は、ねじ込み過ぎにご注意下さい。テーパねじの圧力計をねじ込み過ぎると逆止胴のめねじが変形し、再度プラグを取り付け後、漏水する場合がありますのでご注意下さい。
逆止胴めねじの変形等により、本製品の樹脂プラグで止水出来なくなった場合には、市販の銅合金製又はステンレス製プラグ (R1/4) をご使用下さい。

ライニング鋼管の配管施工法

ボール止水栓のテーパめねじ・管端防食コア無に、ライニング鋼管を接続する際は、別売りの管端防食コアを必ず使用して下さい。（図 12 参照）

- ①管端面は、必ず管軸と直角とし、バリ、カエリのない平滑な面に仕上げて下さい。
- ②スクレーパーなどで管内面の面取りを必ず行ってください。
- ③管のおねじ部、及び管端部に素地が隠れるまで防食シーラ剤を塗布してください。
- ④ボール止水栓のめねじに、鋼管がねじ込める程度まで、管端防食コアを手でねじ込んでください。
- ⑤管端防食コアをねじ込んだボール止水栓と、防食シーラ剤を塗布したライニング鋼管を接続してください。

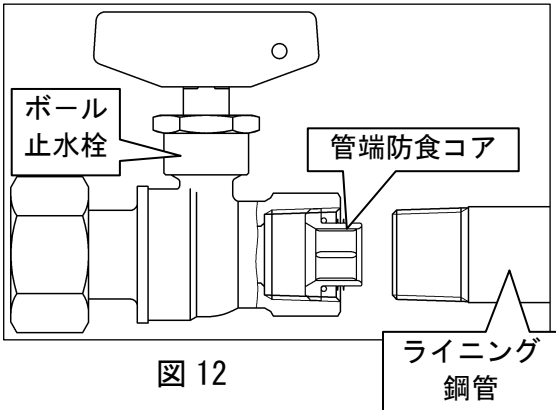


図 12

お問合せ・ご用命は、下記へ



前澤給装工業株式会社

本社 〒152-8510 東京都目黒区鷹番2丁目14番4号 Tel. (03)3716-1511(代表)
http://www.qso.co.jp ISO 9001、ISO 14001 認証取得

※当取扱説明書は、製品改良のため変更することがあります。